



## 新しい年を迎えて

病院長 富所 隆

明けましておめでとうございます。

昨年の春、病院長を拝命して初めての新年を迎えました。病院長就任に当たり、「すべての職員が仕事に誇りとやりがいを持てる職場にする」ことを第一の目標に掲げ、これまで頑張ってきました。まだまだ道半ばですが、今年も引き続き理想の実現に向けて努力していくつもりです。



医療に携わるものは、良質で心暖まる医療を提供し、地域のみなさまの健康を守り、患者さんの笑顔に出会うことを最上の喜びと感じる集団です。病院長として、職員の持つその心を育み、背中を押してあげるような仕事をしたいと強く願っています。

もうすぐ、冬季オリンピックが開催されます。日本のアスリート達の活躍は、私たちにたくさんの元気を届けられます。それと同じように、生き生きと働く職員の姿が患者さんを笑顔にし、患者さんの笑顔が職員に明日への元気を与える。そんな病院作りが、小生の夢ですし、今年の抱負です。

今年、当院では、県内で最高水準となる放射線治療棟の新築工事と救急・重症患者さんに対応する集中治療室の新設を予定しています。医療の質を高め、それを維持することで中越地域の発展に貢献していくつもりです。

今年もよろしくお願いいたします。

## インフルエンザについて

冬の感染症として、最も注意すべき「インフルエンザ」について、お伝えします。

インフルエンザは、インフルエンザウィルスにより引き起こされます。主に咳、くしゃみ、唾液などによるウィルスを含んだ飛沫(しぶき)が上気道(鼻・口・喉)に付着して感染します。予防接種は、感染を完全に予防することはできませんが、重症化は予防して、高齢者の死亡率と入院率を低下させます。ご高齢の方や基礎疾患をお持ちの方は、ぜひ接種して下さい。人混みでのマスク着用や外出後の手洗いも感染予防に有効です。また、患者さんが、マスクを着用すると飛沫の飛散を防げて、周囲への感染の拡大予防に有効です。

診断は、迅速診断キットを使うことが多いのです

が、症状が出てから12時間以内に検査すると、本当はインフルエンザなのに検査結果が陰性になることがあります。また、治療には、ノイラミニダーゼ阻害薬を使いますが、症状が出てから48時間以内に使い始めないと効果がありません。ですから、症状が出てから12時間から48時間の間に受診して、検査を受けて、治療を開始するのが、医療機関への最も賢いかかり方です。



記事担当

呼吸器内科部長  
医師 岩島 明

## 感染性胃腸炎について

冬に流行する感染症として、感染性胃腸炎いわゆるノロウイルスがあります。このノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1年中かかりますが、12月～翌年の1月がピークとされています。その理由として、冬の味覚生ガキが旬で多く食べられることが関係しています。感染性胃腸炎は、ノロウイルスに汚染された二枚貝を生や加熱不足のものを食べることでかかることが多いです。ですから、生ガキはとても美味しいですが、お鍋やカキフライにするなど十分に加熱することをおすすめします。

感染性胃腸炎は、おう吐物や便に汚染されたものに触れることで、人を介して感染します。また、おう吐物に含まれているノロウイルスが空気中に舞い、それ

を吸い込むことで感染します。感染予防対策として、おう吐物や便を処理するときはマスクを着け、処理が終わったら、必ず石けんで手洗いをしてください。ノロウイルスには、アルコール消毒が効きにくいので、おう吐物が付着した物や場所は、次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。



記事担当

感染管理認定看護師  
関 千代

もっと知ってほしい！部署のこと

## 福祉連携センター

福祉連携センターは、地域の皆様の医療・福祉・介護を総合的にサポートいたします。

### 【長岡中央総合病院】

病診連携室  
医療福祉相談室  
退院支援部門  
がん相談支援センター  
患者サポート窓口  
居宅介護支援事業所  
長岡中央訪問看護ステーション

### 【栃尾】

長岡中央訪問看護ステーション  
サテライトとちお  
栃尾郷クリニック

栃尾の医療と介護は、  
私たちにお任せください。



福祉連携センターの中にある、さまざまな部門を紹介致します。

病診連携室では、患者さんのスムーズな受診・治療を進めていくために、地域の先生方との医療連携を推進しています。紹介状をお持ちになり来院される患者さんの受診準備を行っています。

医療福祉相談室には社会福祉の専門家がおり、病気やケガにより生じた悩み事や入院中の問題、退院後の生活に対する不安など、患者さんが抱えるさまざまな問題についてご相談を受け問題解決のお手伝いを致します。

さらに、入院時から退院支援看護師が患者さんのお話を聞きながら、安心して退院を迎えられるようにサポートしています。居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションと連携しながら退院後の療養や治療の継続を支えています。

わたしたち福祉連携センターは、みなさまのあらゆる相談をお受けし、充実したサポート体制で、これからも患者さんが安心して療養を続けていけるように一層努力して参ります。

記事担当：福祉連携センター次長 林 智子



### 栄養科ワンポイント コーナー

今年最初のおすすめメニューは・・・

～お宝いっぱい・福いっぱい～

## 『結びいなり』



材料・作り方 (3種類作ってみました)

- ①油揚げ (半分に切って中を開けて茹でて油抜きをする)
- ②干びょう (塩でよくもんで水洗いし、ちょうどいい硬さまで茹でる)
- ③各中身 (残ったおかず可) を用意し、油揚げに詰め干びょうで結ぶ。  
(A) もち、えび、ぎんなん、大根  
(B) ひじき、人参、ごぼう、まいたけ・さっと煮しておく  
(C) 豆腐、とりひき肉、干しいたけ、ねぎ・豆腐に干しいたけをすりおろして入れる。
- ④平鍋にだし汁・醤油・みりんを適宜入れ 10分～15分煮る。
- ⑤器に美味しそうに盛り付ける。

### 栄養科のおすすめポイント！

今年も誰もが幸せになれる年にしたいものです。「食」は元気の源です。おいしく食べられることはまさに「口福」です。

このお料理はいろんな食材が入ることでバランスも良く、食べる時は何が入っているのかなと宝さがしのような楽しさも味わえます。

# 病院からのお知らせ

## ✓ 第2回 仮装綱引き大会開催

平成29年11月15日院内レクリエーションが開催されました。

さまざまな部門・職員間の交流を通し職場の活性化を図ろうと、院内研修として企画されました。22チーム合計390名の参加があり熱戦が繰り広げられました。真剣な応援・ユニークな仮装で院内職員が一致団結する楽しい企画でした。



## ✓ 平成29年度 第2回防災訓練

平成29年12月7日(木)に火災を想定し防災訓練を行いました。長岡市消防立ち合いのもと、職員、関係業者合わせて約70名の参加がありました。

出火想定時間は21時、夜間は職員の人数も限られていますので、迅速かつ的確な行動が求められます。訓練参加者は「自分だったらどうするか。」を考え真剣に取り組みました。

病院では、「火災、その他の災害時に、人員、施設を最大限活用し、被害を最小限に食い止め、患者、職員の生命の安全を図るための訓練。」を定期的に行っています。



## ✓ 院内無料Wi-Fiのご案内

病院では、1階と2階の外来待合エリアで無料Wi-Fiが利用できます。

外来の待ち時間の間、是非ご利用ください。



Free Wi-Fi周知ポスター

## ✓ 産婦人科病棟における面会制限のお願い

平成29年11月

### 産婦人科病棟(4階西病棟)における面会制限のお願い

インフルエンザ等の感染症拡大を防ぐために、下記の通り面会を制限させていただきます。お母さんと赤ちゃんを感染から守るため、皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

#### 【面会を制限させていただく方】

- ・小学生以下のお子様
- ・下痢、おう吐などの症状がある方
- ・熱、せき、のどの痛みなどの症状がある方
- ・家庭内、職場内などでインフルエンザ等の感染症が流行している方

#### 【面会ができる方】

- ・夫、両親、兄弟姉妹



長岡中央総合病院 病院長